

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	社会教育課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	関崎海星館 (JX金属 関崎みらい海星館)					
	所在地	大分市佐賀関4057-419					
	設置目的	海洋及び天文に関する学習の場を提供することにより市民の知識及び教養の向上を図るとともに、豊かな自然環境の下での余暇の活用に資すること。					
	施設の建築年(又は事業開始年)	平成7年					
指定管理者	名称	大分エージェンシー株					
	代表者名	代表取締役 高倉 康弘					
所在地		大分市法勝台1丁目1番13号					
指定管理業務の内容		①管理施設の運営業務 ②管理物件の維持管理業務 ③管理施設の利用促進、生涯学習の振興、地域の振興に関する業務 ④その他の業務 ⑤経営管理業務 ⑥前号に掲げるもののほか、大分市教育委員会又は指定管理者が必要と認める業務					
料金体系		入館料: 無料 観観料: 天体観測 (個人) 中学生以下/無料、高校生/210円、大人/420円 (団体) 中学生以下/無料、高校生/170円、大人/340円 ※10人以上から団体割引の対象 プラネタリウム (個人) 小・中学生/100円、高校生/250円、大人/500円 (団体) 小・中学生/80円、高校生/200円、大人/400円 ※10人以上から団体割引の対象 その他: (双眼鏡使用料) 1回/100円 (2分間)					
利用料金制		導入済	選定方法		公募		
指定期間		令和5年4月1日～令和10年3月31日 (5年間)		導入年度	平成23年度		
利用者数 (単位: 人)			R5年度目標④	30,000	達成率①/④	159%	
22年度② (直営時又は 制度導入年目)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度③	R5年度①	22年度比①-②	R4年度比①-③
14,669	29,972	24,192	29,391	5,458	47,565	32,896	42,107
管理運営経費の削減額 (直営時比較・前指定期間比較) (単位: 千円)							
直営時 管理運営経費 (b)	前指定期間 最終年度令和3年(c)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)-(b)	前指定期間比較 (a)-(c)
27,760	28,010	28,540	28,010	4,668	39,000	11,240	10,990
利用者満足度 (%)		満足	やや満足	配置職員数 (人)	直営時又は導入1年目	令和5年度	
		73.9	21.7		7	7	

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント	評価結果	配点	評価レベル	得点
1 施設の設置目的の達成 (有効性の向上) に関する取組	①施設の設置目的の達成	40	△	36
	①施設の特色を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。 ②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。 ③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。	20	4	16
	【実績】 ○プラネタリウム、天体観測会等を通じて、海洋及び天文に関する学習の場を提供することにより、市民の知識及び教養の向上を図った。 ○アサギマダラの飛来を促す工夫をはじめ、植栽も四季折々に楽しめるよう管理しており、ロケーションの特性を生かした取組を行うことにより、利用者数の増加を図った。 ○プラネタリウム出張教室を実施し、利用者数の増加を図ったり、イベント参加時など外部での広報活動を実施、市主催の講師を務めるなど海星館のアピールを行った。 ○HPのリニューアル、SNS (フェイスブックやインスタグラム) 等を利用し、旬な話題を提供するとともに、現に検索されている項目を調査することにより、市民ニーズの把握に努めた。 ○プラネタリウムをWEB上の予約制にしたことや、バリアフリー化に伴い、天体観測までの移動シミュレーションを行うなど、利用者の利便性向上に努めた。 ○入館料を引き続き無料にしたことや、アサギマダラの飛来を促す工夫、出張教室等の館外活動、積極的な広報活動など利用者数の増加に向けた取り組みを行った結果として、令和3年度の29,391人、令和4年度5,458人(4月、5月のみ開館)から、令和5年7月にリニューアルオープンし、令和6年3月末までに47,565人と利用者数を伸ばし、コロナ禍以前の平成30年度30,389人を大きく上回る利用者数となった。	20	5	20
	②利用者の満足度 ①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。 ②サービスの質や量は向上しているか。 ③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。 ④利用者への情報提供が十分になされたか。	20	5	20
	【実績】 ○施設に対する総合評価のうち、「とても良い施設」、「良い施設」の割合が約96%と非常に高く、施設利用者の満足を得られている。 ○利用者アンケートは入館無料スペースに設置し、いつも誰でも記入できるようにした。 ○リニューアルオープンに際して、マスク等からの取材を積極的に受け情報発信を行い、集客に努めた。 ○ネーミングライツを取得したJX金属㈱や大分海上保安部等の展示品を設置し、サービスの向上を図った。 ○利用者アンケートにおいて、プラネタリウムでの職員の星空解説が一番人気で、プラネタリウム利用者の満足度が約93%と質の良いサービスを提供した。 ○子ども向けの工作教室や商業施設でのイベントを開催するなど各利用者のニーズに合わせたサービスを提供した。 ○各小学校へ広報誌を配布したり、Twitterなどによる情報発信などサービスの向上に努めた。	30	△	22
2 効率性の向上等に関する取組	①経費の低減等 ①施設の管理運営において経費の縮減が図られているか。 ②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。 ③経費の効率的・効率的な執行がなされたか。	20	3	12
	○ビル管理の専門的知識や経験を活かし、点検、修繕等の施設維持管理業務において経費の縮減に努めた。 ○リニューアルオープン後ということもあり、ワークショップを外注したことによる経費がかかることが、赤字に繋がっている。今後、改善が必要。 ○一方で出張教室やマスコミ各社との情報交換等をしっかり実施したことで、来館者数増加の取り組みを行った。 ○天文に興味を持ってもらい、観観者数の増加につなげられるよう小中学生等を対象としたワークショップを開催したり、商業施設でのイベントに参加した。	10	5	10

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組	30	△	24	
	15	4	12	
(1) 施設の管理運営の実施状況				
①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。 ②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。 ③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。				
【実績】 ○事業計画通りの人員配置、勤務体制であった。イベント等の繁忙期には、駐車場誘導等の警備を外部に委託するなど、安全な運営に努めた。 ○リニューアルオープンといふこともあり、サービス向上のための適宜研修や新人研修等を行った。 ○海上保安部とのイベントの共催、職業体験の受け入れ、関係団体の展示コーナー設置、地元企業や佐賀支所等との意見交換等を通じて地域や関係団体との連携、協働を図った。				
(2) 法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など				
①関係法令 (地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等) の遵守等に遗漏はないか。 ②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。 ③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。				
④施設の管理運営 (指定管理業務) に係る収支の内容に不適切な点はないか。 ⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。 ⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。				
○事故発生につながる危険な行為を早期発見するため、1日3回以上の施設内巡回を行った。また、労働関係法令の遵守に努めた。 ○日常点検マニュアル等を作成し、定期的な研修を通して、緊急時に適切な対応が取れるよう指置を講じた。 ○個人情報は厳重に保管している。またマニュアルを整備し、研修などで周知徹底を図っている。 ○バリアフリー化に伴い、天体観測までの移動シミュレーションを行うなど、利用者の利便性向上に努めた。 ○施設の内観、外観の見回りを毎日行い、不具合を発見した際は迅速な修繕対応を行った。 ○ビル管理の専門的知識や経験を活かし、管理物件の修繕、点検等適切に行なった。 ○安全管理マニュアルを整備しており、適宜行う防災訓練等を通じて体制の確保に努めた。				

【総合評価】

合計得点 (100点満点)	82	評価ランク (S~E)	A				
【評価の理由】							
リニューアルオープンに向けて、マスコミ等を利用した積極的な情報発信を行うとともに、子ども向けの工作教室や各地でのイベント参加、プラネタリウム出張教室を実施するなど各利用者のニーズに合わせた事業の実施、美しい景色を生かした植栽管理、アサギマダラの飛来を促す環境作り、関係団体等との協力・連携等、教育面、観光面の両視点で集客力向上のための工夫を凝らしており、利用者アンケートによる満足度も非常に高い。コロナ禍以前の平成30年度と比べ、リニューアルによる効果もあってかほぼ1.5倍の入館者数となり、指定管理業務について高い水準で行われているものと判断する。							
【今後の対応】							
プラネタリウムや天体望遠鏡、展示設備を最大限活かせるように、SNS等を活用した広報活動や出張教室等の入館者数増加に向けた取り組みを継続していき、一方で植栽による美しい景観や閑閑灯台も含めた観光面についても引き続き情報発信を行っていき、地域の活性化に努める。 また、アクセス道路については、改善に向けて今後とも引き続き大分県へ要望を行う。							
【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な意見等</th> <th>市の対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リニューアル工事期間中のため、ヒアリングなし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				主な意見等	市の対応状況	リニューアル工事期間中のため、ヒアリングなし	
主な意見等	市の対応状況						
リニューアル工事期間中のため、ヒアリングなし							

【R6年度 指定管理者評価部会の意見】

①家族層の利用はもとより、愛好家層等にアプローチをかけ、より多くの利用者確保に努めてもらいたい。
②物販事業について、収支状況の適正性について担当課は確認されたい。
③他市の市報などに掲載することや民間媒体の活用によるPRで利用者数が増えるよう努めてもらいたい。
④ホームページの発信について、より興味を惹くような更新を順次されたい。